

10月25日(土) 明治大学

法科大学院がわかる会の感想

来場者1

本会では、実務家や法科大学院の教授、法科大学院生・卒業生によるお話を通して、法科大学院を詳しく知ることができました。そして、法科大学院について詳しく知ることによって、法科大学院に対するイメージが変わりました。

私は、法科大学院生・卒業生の方からなかなかお話を聞く機会がなかったため、法科大学院ではとにかく司法試験の勉強をするというイメージを持っていたのですが、「法科大学院がわかる会」で法科大学院生や卒業生の方のお話を聞いて、法科大学院では実務にも通じるような学修をしていたり、学生が自分たちでゼミを組んで議論をしていることを知り、司法試験に向けた勉強はもちろんのこと、法律家としての人間性の面でも成長できる場所であると感じました。

普段はなかなか法科大学院について詳しく知ることがない中で、本会を通して法科大学院について知ることができ、とても良い機会でした。

来場者2

講演会は私にとって大変勉強になるものでした。「法科大学院での勉強はただの知識の勉強にとどまらないで、その知識を生かして仕事ができるレベルの力をつけるためのものだ」というお話が一番印象深く、法律を勉強する者として私自身も心に留めていきたいと思いました。法律を学ぶときに単なる知識の暗記ではなく、なぜそうなるのかを考えながら学ぶのは司法試験に限らず普段の法律の勉強全般においても大切なことであり、そういった論理の考察や討論の力を磨けるのがロースクールの魅力なのかなと感じました。

講演会後の個別相談会では各大学院の方や実務家の方にお話を伺える時間があり、参加できて良かったなと感じました。また、国家公務員志望でも、法科大学院に通ってからの方が入りやすいし、現に法科大学院卒業後に国家公務員になる人も少なからずいるということを知って、そういう進路もあるんだなと、少し視野が広がりました。